

東南海地震に備える

語り継ぐ津波の脅威

東日本大震災から学ぶもの



©岩手日報社提供

開催日時

2016年 3月13日(日)

開場 12:00 開演 13:00

会場

大阪府立国際会議場 10階 会議室

大阪市北区中之島5丁目3番51号 TEL 06-4803-5585

入場料無料(入場整理券発行)

主催

大阪御堂筋本町ロータリークラブ・国際ロータリー第2660地区IM7組 各ロータリークラブ・関西岩手県人会

後援

大阪府・大阪市・岩手県・読売新聞大阪本社・読売テレビ・岩手日報社・国際ロータリー第2660地区・早稲田大学校友会大阪支部

協賛

ユニオン・阪急不動産・住江織物・損害保険ジャパン日本興亜

協力

読売テレビ・岩手日報社・IBC岩手放送

第1部

基調講演

「大阪に津波が来たら？」

河田 恵昭(関西大学教授)

パネルディスカッション

「東日本大震災被災地からの報告

～語り継ぐものは何か～

コーディネーター 辛坊 治郎(大阪総合研究所代表)

パネリスト

戸羽 太(陸前高田市長)
木下 義則(IBC岩手放送記者)

木村 忠彦(元大阪市災害支援方面隊長、
現淀川消防署長)

四戸 直紀(大槌町総合政策部総合政策課)
河田 恵昭(関西大学教授)

第2部

「チャリティーコンサート ～歌声でつなぐ絆の輪～」

出演

■清心くまの(マンドリンシンガー)

■東西四大学チャリティー合唱団

プロフィール | Profile

第1部

基調講演「大阪に津波が来たら？」



河田 恵昭 関西大学教授

関西大学社会安全学部・社会安全研究センター長・教授。工学博士。専門は防災・減災。現在、阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター長(兼務)のほか、京大防災研究所長を歴任。京都大学名誉教授。21世紀COE拠点形成プログラム「災害学理の解明と防災学の構築」拠点リーダー。大都市大震災軽減化プログラム(文部科学省)研究代表者。2007年 国連SASAKAWA防災賞、2009年 防災功労者内閣総理大臣表彰、2010年 兵庫県社会賞受賞、2014年 兵庫県功労者表彰。現在、中央防災会議防災対策実行会議委員。日本自然災害学会および日本災害情報学会会長を歴任。

パネルディスカッション「東日本大震災被災地からの報告 ～語り継ぐものは何か～」



【コーディネーター

辛坊 治郎 (株)大阪総合研究所代表

1980年 早稲田大学法学部卒業。同年読売テレビ放送株式会社入社。1993年 報道局解説委員。1996年 USIA(アメリカ国務省文化交流庁)の招きで米国メディア研究。1997年～1998年 ニューヨークベース大学客員研究員。2004年 芦屋大学客員教授。2009年 読売テレビ解説委員長。2010年 読売テレビ放送株式会社退社。現在(株)大阪綜研代表。読売テレビ、ニッポン放送等でキャスター、ニュース解説で活躍。著書「ニュースで伝えられないこの国の真実」KADOKAWAほか多数。

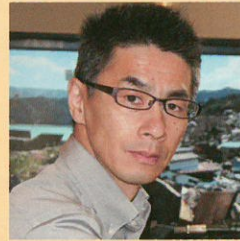
【パネリスト



戸羽 太

陸前高田市市長(現在2期目)

会社員を経て1995年4月から陸前高田市議を務め、2007年3月に助役に就任。その後副市長を務める。2011年2月の市長選に初出馬、初当選を果たした。市長就任直後に東日本大震災により壊滅的な被害を受け、復興に向けた新しいまちづくりを進めている。「世界に誇れる美しいまちの創造」をコンセプトに「ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくり」を目指している。



木下 義則

IBC岩手放送記者

委託カメラマンとしてIBC岩手放送の報道業務に従事していた2011年3月11日東日本大震災が発生、釜石港近くにあった支社が入居するビルより押し寄せる大津波の一部始終を撮影、被災直後の惨状をレポートする。現在、釜石駐在の記者として被災地の復興の現実と向き合い続けている。



四戸 直紀

大槌町総合政策部総合政策課

平成14年4月大槌町役場に入庁し、震災時は総務課防災業務を担当。地震発生時は隣まちの釜石市内を運転中で、その後役場まで戻り災害対策本部に合流。合流後に、津波が役場を襲い被災したが、偶然も重なり水面に浮上り漂流してきた屋根に乗り最後は建物に飛びつき一夜を過ごす。翌日、自衛隊ヘリに救助され高台の城山公園体育館に移動し災害対策本部を再構築して自衛隊や国・県との調整、避難所対応などの業務に従事。



木村 忠彦

大阪市淀川消防署長

東日本大震災当時、大阪市消防局警備方面隊長として勤務。発災後数時間で、大阪府下33消防本部からなる大規模な緊急消防援助隊を組織し、岩手県などに派遣。人命救助を中心とした消防活動全般を指揮した。危機的な状態となった福島第一原発では、部下職員とともに原子炉建屋に迫り、冷却放水作業に従事し被ばく。

第2部

「チャリティーコンサート ～歌声でつなぐ絆の輪～」



キヨミ 清心 <マンドリンシンガー>

岩手県北上市出身
青山忠氏にマンドリンを師事
2006年、徳間ジャパンコミュニケーションズよりメジャーデビュー
福祉施設や、支援学校のほか、東日本大震災直後から被災地、避難所など50か所で慰問ライブを行う。希望郷いわて文化大使。



東西四大学 チャリティー合唱団

- 大阪稲門グリークラブ
- 慶応義塾ワグネル・ソサィエティー関西OB合唱団
- 新月会(関西学院)
- クローバークラブ(同志社大学)

曲目 「斎大郎節」「いざ起て戦人よ」「あすという日が」「花は咲く」ほか